

脳神経外科のご紹介

医師は、青木院長、金子医師、岡田医師3名です。診療の対象は、主として頭部外傷や頭痛、脳卒中などですが、その他に、こんな症状があるときは当科で受診して下さい。

- ✓ 半身が痺れて立てなくなったが、数分で回復した。
しかも、喫煙者である。→①へ
- ✓ ゆらゆらとモヤがかかったように片方の目が見えなくなったが
10分で回復した。既往に高血圧がある。→②へ
- ✓ 1ヶ月前に転倒して頭を打撲した。最近、頭痛がする、
足も重くなって歩きづらくなった。→③へ
- ✓ 数年前からふらふらした歩行のため、歳のせいと思っていたが
近ごろ失禁や物忘れが現れた。→④へ



手術風景



脳梗塞患者に対する緊急 MRI

→①・②脳梗塞の危険な前兆です。当科では「脳血管障害の予防外来(青木院長)」を行っています。
左の写真は、緊急 MRI を行っているところです。
神経内科、リハビリ科と共同して血栓溶解療法を行っています。

→③ 外傷性慢性硬膜下血腫の可能性があります。
右の写真は当科で行っている「タッピングによる血腫酸素置換術*①」です。さらに右の写真は手術に使う穿刺針で、局所麻酔で行う低侵襲(身体への負担の小さい)手術です。



*①頭に溜まった血液と酸素を置換する手術(タッピング:血液を出す蛇口のような器具) 小さな穿刺針だけで行うタッピング術

→④ 高齢者に多い特発性正常圧水頭症の可能性があります。低侵襲の腰椎腹腔シャント術で改善する可能性があります。当科では「正常圧水頭症外来(岡田医師)」を行っており、歩行動画をHPで紹介しています。以上に加えて、「脳腫瘍外来(金子医師)」「小児脳神経外科疾患外来(青木院長)」を設置しニーズに添えています。

患者さんからの改善意見への取組結果について

- ①トイレを温水洗浄便座化して欲しい。
→患者さんのご使用スペース全てに温水洗浄便座を設置致しました。
- ②外来待ち時間の短縮
→待ち時間を有効に活用して頂くため、呼び出し機を設置致しました。お近くの外来受付まで、お声かけください。
再来機が8月27日より稼働致しますので、診察の順番がわかりやすくなります。
- ③売店とレストランに子ども向きの商品が少ない。食堂のメニューを増やして欲しい。
食堂にて、呼び出しの音が聞きづらい
→11品の新メニューを追加しました。(サバの味噌煮定食・ヘルシーセット・お子様ランチ他)



ヘルシーセット



野菜あんかけラーメン



天ざるそば



キッズカレープレート



お子様ラーメン

※オレンジジュース付き

また、食堂で出来上りをブザーとパイプでお知らせする呼び出しシステムを導入しました。

⑤宅急便を取り扱って欲しい

➡ 6月より売店にて、宅急便のお取扱いを開始致しました。



薬剤師はどこに??



皆さんはお気づきですか？病院の会計カウンターの左端にお薬お渡しカウンターがあることを。

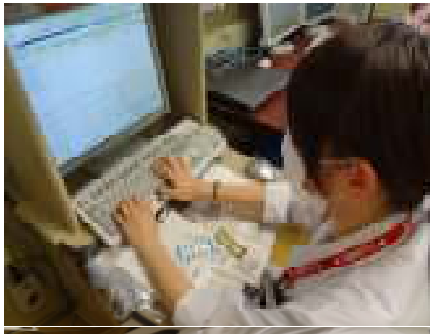
カウンターはあるけど・・・ひっそりとして薬剤師はいない・・・どこにいるの？

白衣を着て、くすりを混せている画像が浮かぶかもしれませんが、実は当院の薬剤師は入院患者さんの近くにいます！そうです。病棟にいるのです！！

今年の4月から厚生労働省は専任の薬剤師が病棟において患者さんが持ってこられた薬や、アレルギーなどの情報を聞き取り、医師や看護師と薬を使い安全で効果的な治療ができるようにチーム医療を推進しています。当院では平成20年から先進的に病棟で薬剤師が業務についておりました。

つまり、**本当は見えるところにいるのです！**

ちょっと病棟の中をのぞいてみましょう・・・



➡ ①薬剤師が患者さんのもってこられたお薬を調べているところです。

＜ここでPOINT！お薬手帳！！＞

お薬手帳があると便利！！

お薬説明書があるとさらに便利！！

どこの病院・診療所、薬局でいつから・どんな薬を
・どうやって飲むか・などの情報が満載されて、
災害時にも活躍します！！



②患者さんから薬の相談を受けたり、薬の効果・副作用の説明や、

使い方や飲み方の工夫などを一緒に試しながら説明しています。➡

お薬以外の相談も多いのですよ・・・

③医師や看護師と情報交換しながら治療の方針や薬をどれにすべきかなどを話し合っています。

④患者さんが使っている薬の最新情報などを医師へお知らせしています。

＜薬局は地下1階にあります。だから姿が見えないのですね・・・。薬局内で様々な機械を使いながら、薬剤師が調剤などを行っています。＞

↓ ⑤医師からの処方せんに基づいて薬局内で飲み薬や注射薬などの調剤をします。

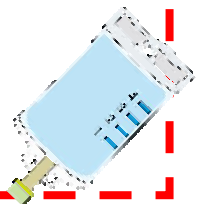


➡ ⑥抗がん剤などの薬は安全確実に薬剤師が調製しています。

このように、当院の薬剤師は地下1階から6階までいたるところに存在します。もし、皆さんのそばに薬剤師がきたときには、気軽に声をかけてみてください。薬あるところに薬剤師あり！

＜この薬は薬剤師に相談してから・・・＞ってコマーシャルでも言っていますよね。

町で買った薬も相談に乗りますよ・・・



公益財団法人東京都保健医療公社 多摩北部医療センター

外来診療時間：午前：9:00～12:00

午後：1:00～5:00(ただし、診療科によって異なります)

診療予約受付電話：042-396-3511・3190

(受付時間：月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00)

当院ホームページはこちらから



<http://www.tamahoku-hp.jp>